

カルティオ MPK-780 シリーズ

この度は **TRUSCO** カルティオをお買い上げいただき誠にありがとうございます。ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みになり正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管し、必要な時にお読みください。

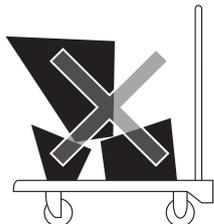
取扱説明書

警告

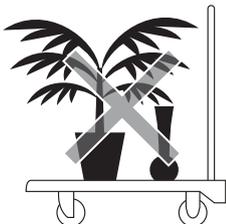
荷物の落下・転倒によるケガや荷物の破損等の恐れがありますので、事故防止のため、下記の内容を厳守してください。



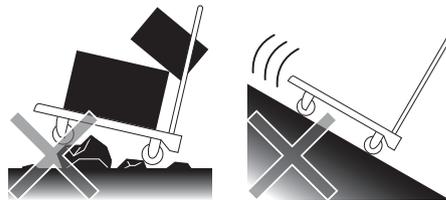
人や動物をのせない。



内容物や重量に偏りのある荷物をのせない。



傾きやすい荷物をのせない。



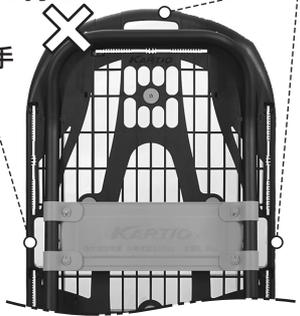
斜面や凸凹のある場所では使用しない。

- 人や動物をのせないでください。●均等荷重以内で使用してください。●内容物や重量に偏りのある荷物はのせないでください。●傾きやすい荷物はのせないでください。●斜面や坂道、凸凹のある地面等の不安定な路面では使用しないでください。●運搬中は人の介添えを必要とします。●他の動力でけん引しないでください。●危険物・毒劇物や化学薬品をのせないでください。●荷物をのせる際、荷台に衝撃を与えないでください。●腰の高さ以上に荷物を積み上げないでください。●台車に荷物をのせて急旋回しないでください。●ご使用にならないときは、勝手に自走しない安定した場所に保管してください。●荷台に荷物をのせたままトラック等で運搬しないでください。●ボルトやネジがゆるんだまま使用しないでください。●分解や改造をしないでください。●火のそばに置かないでください。●溶剤や薬品等で拭かないでください。

注意

持ち運ぶとき
ハンドルは持たない

持ち手



- 持ち運ぶときは荷台に設けられた持ち手を持ってください。ハンドルは持たないでください。(右図)
- 荷台とハンドルの間で手を挟まないように注意してください。
- 立て置き時の転倒防止機能はありません。転倒に注意してください。

各部の名称と寸法



ハンドルの操作方法

- ハンドルを起こすときは、必ずハンドルが固定される位置まで引き起こしてください。
- ハンドルを折りたたむときは、ハンドル根元の折りたたみバーをしっかりと踏み下げながら荷台側に倒してください。折りたたんだハンドルは、荷台の溝に設けたゴム製の保持パーツでしっかりと固定してください。

均等荷重: 200kg
質量: 6.8kg

材質: (荷台) 再生ポリプロピレン (PP) 再生材100%、
(ハンドル) アルミ、(キャスター金具) スチール、
(車輪) エラストマー樹脂

カルティオMPK-780シリーズの
商品ラインナップや各種オプション
の詳しい情報はこちら



カルティオ用 荷物落下防止柵

適合機種:
MPK780シリーズ

発注コード 558-4738

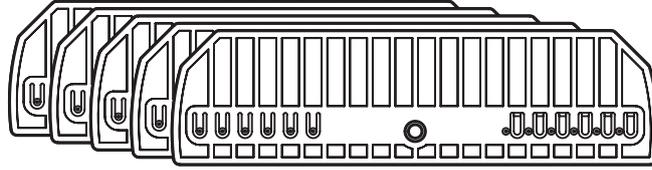
品番 MPK780RSK

4 550414 332908

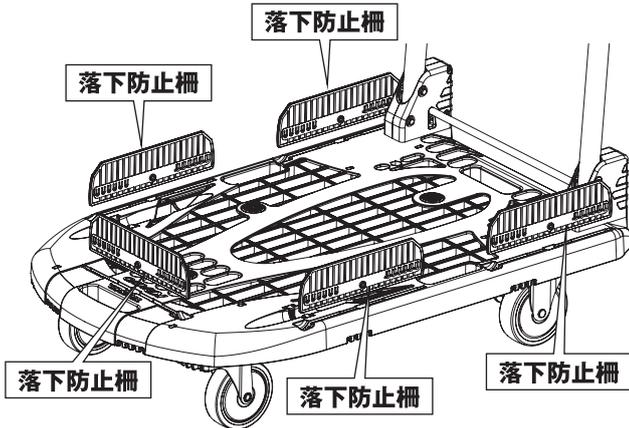
この度は **TRUSCO** カルティオ用荷物落下防止柵をお買い上げいただき誠にありがとうございます。ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みになり正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管し、必要な時にお読みください。

取扱説明書

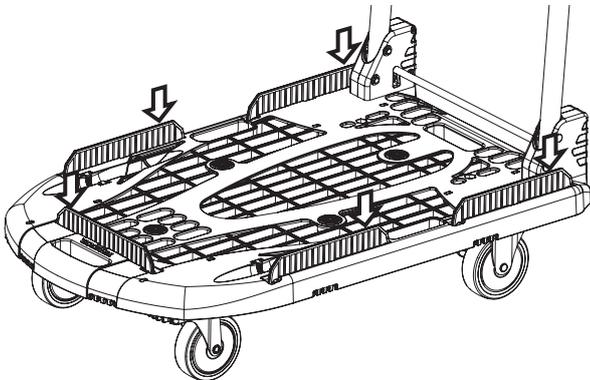
セット内容



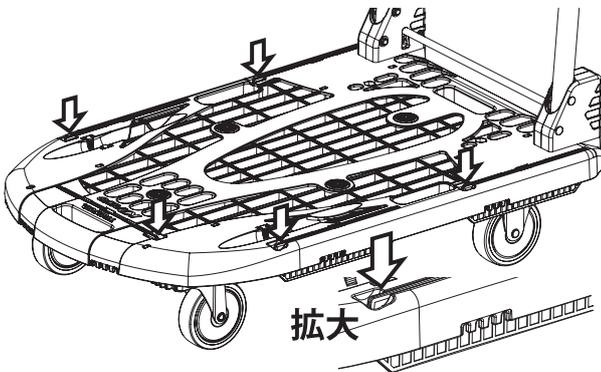
荷物落下防止柵×5個



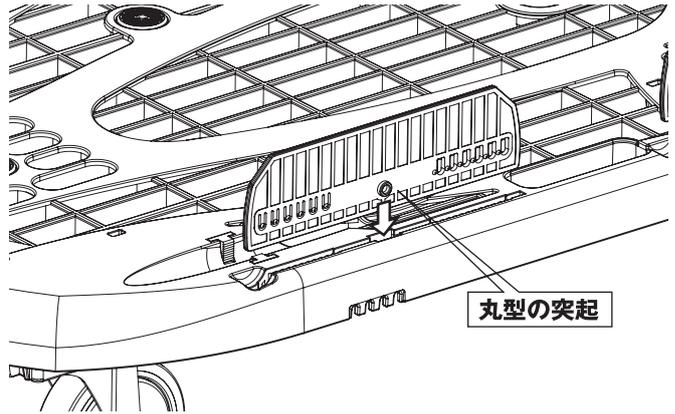
- ①落下防止柵を本体の5か所（前1か所、左右2か所ずつ）の溝に合わせて設置します。
※落下防止柵には左右、裏表の違いはありませんのでどの位置に配置しても取付け可能です。



- ③5か所の柵を取付け完了した状態。（柵使用状態。）柵を収納する場合は矢印の箇所を上から押さえて回転させます。

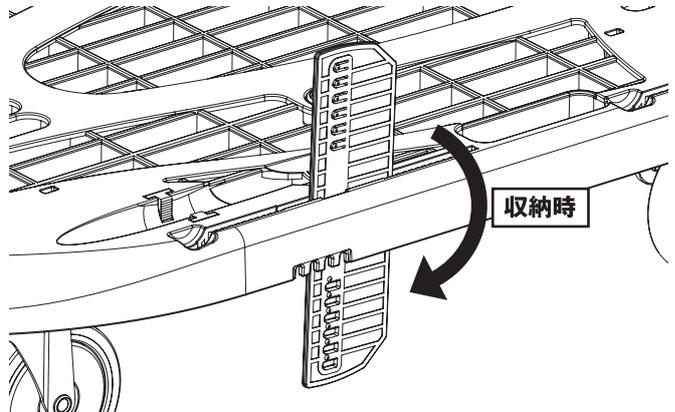


- ⑤5か所の柵を収納した状態。柵を使用する場合は矢印の箇所（柵の角部が少し出ている箇所）を上から押さえて回転させます。

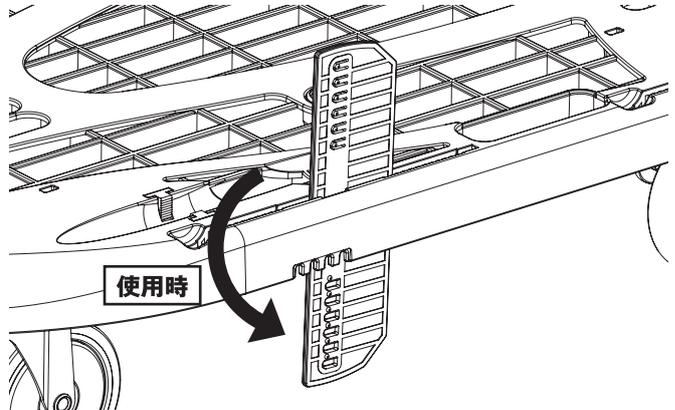


丸型の突起

- ②落下防止柵の中央にある丸型の突起を本体の溝の中央にある丸型の受けにはまるようにガチッと音がするまで押しこんでください。



- ④柵を収納する場合は時計回りにカチッと音がするまで回転させてください。



- ⑥柵を使用する場合は反時計回りにカチッと音がするまで回転させてください。

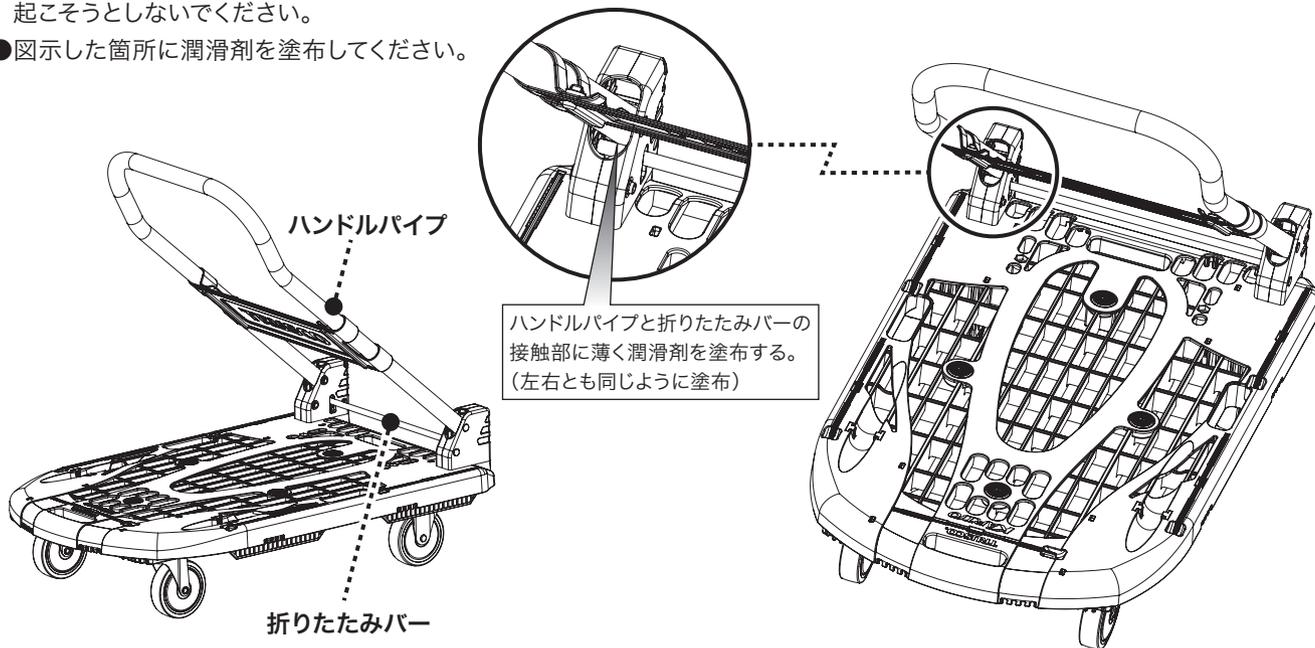
▲ 使用上のご注意 落下防止柵は上部から衝撃を受けた際に、破損防止のために本来の回転方向とは逆方向にも回転する設計になっておりますが、通常使用時は上記説明図のように正しい回転方向でご使用ください。

⚠️ 注意

- 持ち運ぶときは荷台に設けられた持ち手を持ってください。ハンドルは持たないでください。(右図)
- 荷台とハンドルの間で手を挟まないように注意してください。
- 立て置き時の転倒防止機能はありません。転倒に注意してください。
- 風雨の当たるところでの使用、保管はしないでください。

ハンドルが起こしにくいときは

- ケガをする恐れがありますので無理にハンドルを起こそうとしないでください。
- 図示した箇所に潤滑剤を塗布してください。



持ち運ぶとき
ハンドルは持たない

持ち手



ハンドルの操作方法

起こし方

- 倒れている状態のハンドルを、そのまま持ち上げて起こしてください。
- ハンドルを起こしたあとは、ロックが掛かっているか必ず確認してください。
- 荷台先端を踏んでハンドルを持ち上げるのは、破損の原因になりますのでおやめください。

倒し方

- 折りたたみバーを踏みながらハンドルを荷台側に最後まで倒してください。
- 倒したハンドルは、荷台の溝に設けたゴム製の保持パーツでしっかりと固定してください。

